

「雲仙・普賢岳溶岩ドーム崩壊対策構造検討会」

議事要旨

開催日：平成26年8月4日（月）

15:00～17:00

場所：雲仙岳災害記念館 セミナー室

1. 嵩上げに伴う基本事項について

- えん堤の嵩上げに関する設計外力、安定計算、構造形式に関する各諸元については、事務局の提案通り了承された。

2. 土石流の偏流に対する構造の照査について

- 崩壊後の土石流に対する嵩上げ前後のシミュレーション結果では、土石流の流れが右岸側に向いている。これに伴って嵩上げを必要とする場合、えん堤に作用する外力は土石流の作用位置を嵩上げする部分に作用させて構造の安定性を確認し、補強等の必要な場合は、より安全な構造物となるように、今後、詳細設計を行う中で、既設えん堤の腹付け補強の設計も進めること。

3. 減災を考慮した検討、並びに現場施工時の配慮について

- ブラスト（突風）による影響については、嵩上げ部下流側の土砂型枠上に備蓄を兼ねた盛土や植栽（修景盛土）を行うことでブラストに対するある程度の減災が期待できると考えられる。

4. 今後の進め方について

- 構造物の細部設計については、本検討会で了承された嵩上げ構造及び設計条件に則って、今後、事務所にて詳細設計を進めることし、検討会を終了する。

以上